

院内トリアージの実施について

初回トリアージは来院後、待合室で速やかに行う

混雑時にも10～15分以内にトリアージすることを目標とする

症状例示	酸素飽和度	循環動態	意識レベル	体温	トリアージ分類	治療室への誘導	診察開始または再評価までの時間
心停止 けいれん持続 ショック	< 90%	ショック	中等度以上の意識障害		レベルⅠ 蘇生レベル	即座に処置室	即座
心源性胸痛 激しい頭痛 急性腹症	< 92%	循環不全	軽度意識障害	38.5℃↑ 免疫不全疑 敗血症疑	レベルⅡ 緊急	速やかに処置室	15分
高血圧 下痢 持続する悪心・嘔吐 開放骨折 汚染創 高齢者の転倒後の 股関節痛	92～94%	正常の上限・下限	正常	38.5℃↑ 具合悪い	レベルⅢ 準緊急	速やかに処置室 or 診察室	30分
軽い外傷 尿路感染 便秘 1回だけの嘔吐・下痢	> 94%	パルス正常	正常	38.5℃↑ 具合悪い	レベルⅣ 低緊急	診察室が空いた時点	60分
アレルギー性鼻炎 皮膚発赤 予定診察・検査・注射	> 94%	パルス正常	正常		レベルⅤ 非緊急	診察室が空いた時点	120分